

広島県感染症発生動向週報

〔広島県感染症予防研究調査会〕

1. 五類定点疾患週報情報

令和7年第41週(令和7年10月6日～10月12日)【速報】

No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号	No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI)※2	5,233	55.67	—	→	11	突発性発しん	16	0.28	0.25	↗
2	インフルエンザ ※3	160	1.70	1.26	↑	12	ヘルパンギーナ	19	0.33	0.43	↗
3	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	356	3.79	—	↘	13	流行性耳下腺炎	0	0.00	0.04	
4	RSウイルス感染症	117	2.05	0.32	↗	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
5	咽頭結膜熱	18	0.32	0.30	↘	15	流行性角結膜炎	33	1.74	0.48	↗
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	114	2.00	1.05	↗	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	感染性胃腸炎	205	3.60	2.39	→	17	無菌性髄膜炎	1	0.05	0.00	
8	水痘	16	0.28	0.10		18	マイコプラズマ肺炎	42	2.10	0.60	→
9	手足口病	25	0.44	1.30	↗	19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	75	1.32	0.01	→	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	

※1 過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

発生記号(前週と比較)

	ARI定点(内科)	ARI定点(小児科)	眼科定点	基幹定点
疾患No.	1～3	1～13	14,15	16～20
定点数	37	57	19	20

急増減	↑	↓	1 : 2 以上の増減
増減	↗	↘	1 : 1.5 ～ 2 の増減
微増減	↗	↘	1 : 1.1 ～ 1.5 の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

● 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の報告患者数が県内すべての保健所管内(7保健所)で定点当たり8人未満かつ直近1週間の同感染症の入院者数(中等症以上)が1協力医療機関当たり2人未満となり、警報継続基準値を下回ったため、令和7年9月18日に発令した新型コロナ医療ひっ迫警報を10月16日に解除しました(注意報を含む)。

● インフルエンザの広島県の定点当たり報告患者数が流行入り基準値(定点当たり1)を上回りました。インフルエンザが流行入りしたと考えられますので今後の情報にご注意ください。

対象疾患名	警報開始基準	警報継続基準	注意報開始基準	県内の発令状況	保健所別の流行状況(定点当たり)						
					西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
伝染性紅斑	2	1	—	警報発令(R7.5.22発令)	0.43	3.20	1.40	1.00	1.68	0.38	0.86
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	13	8	8	警報解除(R7.9.18発令分)	4.77	3.63	4.89	3.60	2.86	4.92	3.67

【急増減疾患(前週比2倍以上増減)】

● 急増疾患 インフルエンザ (52件 → 160件)
● 急減疾患 なし

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	2		3		1		1
三類	0	発生なし	0							
四類	5	日本紅斑熱	2			2				
		レジオネラ症	3	2					1	
五類	72	急性脳炎	1					1		
		梅毒	7		1	1		5		
		水痘(入院例)	1	1						
		百日咳	63	3	22	2		17	6	13

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神高高原町
北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>